

皮膚科

田所丈嗣

当科では、国立病院機構が担うべき医療のなかでも皮膚腫瘍を含めた皮膚がんに関心を置いた診療に従事しており、皮膚がんの適切な診断と治療を診療内容の基本として、外科的ならびに内科的対応が可能です。当院は、皮膚がんに対する手術療法ならびに化学療法、放射線療法などの集学的な治療を行うことが可能な施設であり、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医をはじめ優れたスタッフと恵まれた医療設備のもと、皮膚がんに対する正確な診断と十分な説明、事実に基づいた治療をモットーに、皮膚がん患者の社会的な生活の質を第一とした診療を行い、皮膚がんの中核病院としての役割を果たすべく責任を持って診療にあたっています。皮膚腫瘍の診断は容易ではないものも多いためダーモスコピーによる非侵襲的な検査を行い、**RI**法と蛍光色素法を併用した悪性黒色腫に対するセンチネルリンパ節生検を導入し、臨床検査科病理部門との合同カンファレンスを行うことで診断精度を高めるとともに、治療方針を含めたセカンド＝オピニオンの要請にも十分に答えられる体制を整えています。また、皮膚がん切除後の組織欠損に対しても、整容面や機能面に配慮した皮膚外科的な対応を行っています。更に、当科では、下肢静脈の弁不全によって発生する下肢静脈瘤に対する専門外来を開設し、非侵襲的な超音波ドップラー検査や脈圧波測定検査を用いた専門的な診療を行うとともに、保存的治療に加えて、短期入院による下肢静脈瘤用レーザー治療を含めた外科的手術を数多く経験し、良好な治療成績を残しています。一方、パッチテストによる金属アレルギー等の接触皮膚炎の診断と治療、あざの相談と治療など専門性の高い診療にも対応し、難治性皮膚疾患に関しても、地域の医療施設や近隣の総合病院から専門的な診療を要する患者を積極的に受け入れるとともに、当院加療中の他科患者の皮膚疾患についても責任を持って診療にあたっています。以上のような当科における診療内容の性格上、病状説明や検査、処置等には十分な時間をかけ、安定期患者には密接な病診連携のもとに地域の医療機関における継続診療を勧めつつ、他の医療機関から広く紹介患者を受け入れることで地域の医療ニーズに積極的に応えるよう努力しています。なお、当院は大学病院以外では数少ない日本皮膚科学会認定専門医主研修施設に指定されており、皮膚科専門医育成のための医師教育にも取り組んでいます。

【2012 年度研究発表業績】

A-1

田所丈嗣：基底細胞上皮腫「高齢者によくみられる皮膚疾患アトラス —鑑別と治療のポイント」
横関博雄、片山一朗編、181-186、医薬ジャーナル、東京、2013年3月

A-3

野口史人、大島衣里子、池田 綾、東 祥子、永松麻紀、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：慢性肝障害に合併した arteriovenous hemangioma の 2 例「皮膚の科学」10 (6):P.500-504、2011年12月

田所丈嗣、田中 勝：Q&A 19 中高年手掌の拡大する黒色斑、皮丘平行パターンか？「Visual Dermatology」11 (5): P.530-531、2012 年 4 月

永松麻紀、東祥子、池田 綾、小澤健太郎、田所丈嗣、小川吉彦、富成伸次郎、辻 真紀：凍結療法が奏効した AIDS 関連 Kaposi 肉腫「皮膚病診療」34 (12):P. 1221-1224、2012 年 12 月

A-5

小澤健太郎：IV. カポジ肉腫の皮膚所見。「AIDS に合併するカポジ肉腫等の HHV-8 関連疾患における診断と治療の手引き」（平成 24 年度厚生労働省エイズ対策研究事業） 「エイズ患者におけるカポジ肉腫関連ヘルペスウイルスが原因となる疾患の発生機構の解明と予防および治療法に関する研究」、P.31-36、2013 年 3 月

B-4

永松麻紀、大島衣里子、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣、笠井大介、米本仁史：致死的な免疫再構築症候群をおこした HIV 感染者の中毒性表皮壊死症の 1 例。第 111 回日本皮膚科学会総会、京都、2012 年 6 月

B-6

永松麻紀、宮崎明子、池田 彩、小澤健太郎、田所丈嗣：致死的経過を辿った HIV 感染者に生じた中毒性表皮壊死症。第 54 回湾岸勉強会、神戸、2012 年 4 月

小澤健太郎、宮本麻美、永松麻紀、池田 彩、田所丈嗣：Clear cell SCC の 1 例。第 54 回湾岸勉強会、神戸、2012 年 4 月

小澤健太郎、永松麻紀、宮本麻美、大島衣里子、田所丈嗣：右母指の爪甲下悪性黒色腫。ひふ勉強会、大阪、2012 年 4 月

小澤健太郎、池田 彩、永松麻紀、宮本麻美、田所丈嗣：皮下型スウィート病。ひふ勉強会、大阪、2012 年 5 月

小澤健太郎、池田 彩、永松麻紀、宮本麻美、田所丈嗣：Grover 病？。ひふ勉強会、大阪、2011 年 7 月

小澤健太郎、池田 彩、宮本麻美、永松麻紀、田所丈嗣：萎縮型皮膚線維腫の 1 例。第 54 回湾岸勉強会、神戸、2012 年 7 月

池田 彩、大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：老人性血管腫からの皮膚生検が診断に有用であった血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫。第 105 回近畿皮膚科集談会、京都、2012 年 7 月

小澤健太郎、宮本麻美、池田 彩、永松麻紀、田所丈嗣：手背に生じた Neuroma の 1 例。皮膚勉強会、大阪、2012 年 9 月

宮本麻美、永松麻紀、池田 彩、小澤健太郎、田所丈嗣：爪甲下に生じた superficial acral fibromyxoma の 1 例。第 202 回大阪皮膚科症例検討会、大阪、2012 年 9 月

小澤健太郎、永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、田所丈嗣：非定型的な多形紅斑。ひふ勉強会、大阪、2012 年 10 月

宮本麻美、大島衣里子、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：右下腹部に生じ、リンパ節転移をきたした Hidradenocarcinoma の 1 例。第 63 回日本皮膚科学会中部支部学術大会、大阪、2012 年 10 月

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、小澤健太郎、田所丈嗣：ダーモスコピーでの診断が困難であった右乳房の脂漏性角化症。ひふ勉強会、大阪、2012 年 11 月

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、小澤健太郎、田所丈嗣：診断例：CD34 陽性の線維組織球系腫瘍。第 203 回大阪皮膚科症例検討会、大阪、2012 年 11 月

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：頸部に生じた外歯瘻の 1 例。ひふ勉強会、大阪、2012 年 12 月

小澤健太郎、宮本麻美、永松麻紀、池田 彩、田所丈嗣：ラノリンによる接触皮膚炎を伴った Lipodermatosclerosis による皮膚潰瘍。ひふ勉強会、大阪、2012 年 12 月

池田 彩、宮本麻美、永松麻紀、小澤健太郎、田所丈嗣、清水隆弘：萎縮性皮膚線維腫の 1 例。第 434 回日本皮膚科学会大阪地方会、大阪、2012 年 12 月

永松麻紀、宮本麻美、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：水疱性類天疱瘡の経過中に生じた膿疱型薬疹。ひふ勉強会、大阪、2013 年 1 月

小澤健太郎、池田 彩、宮本麻美、永松麻紀、田所丈嗣：手背の Clear cell Bowen's disease の 1 例。

第 57 回湾岸勉強会、神戸、2013 年 3 月

永松麻紀、東 祥子、池田 彩、野口史人、小澤健太郎、田所丈嗣、猿喰浩子：陰茎に発生した悪性黒色腫の 1 例。第 436 回日本皮膚科学会大阪地方会、大阪、2013 年 3 月

B-8

小澤健太郎：関連疾患のご紹介患者さんの経過報告。大阪中央皮膚疾患フォーラム、大阪、2012 年 4 月

田所丈嗣：病理学各論 V（皮膚）。国立大阪医療センター附属看護学校講義、大阪、2012 年 4 月

小澤健太郎：薬疹：皮膚科の立場から。肝臓専門医育成プロジェクト 平成 24 年第 1 回勉強会、大阪、2012 年 4 月

田所丈嗣：褥瘡 成り立ちと治療。平野医師会学術講演会、大阪、2012 年 5 月

田所丈嗣：褥瘡-なりたちと治療-。国立大阪医療センター褥瘡研修会、大阪、2012 年 6 月

田所丈嗣：皮膚外科。大阪大学医学部講義、大阪、2012 年 9 月

小澤健太郎：関連疾患のご紹介患者さんの経過報告。大阪中央皮膚疾患フォーラム、大阪、2012 年 10 月